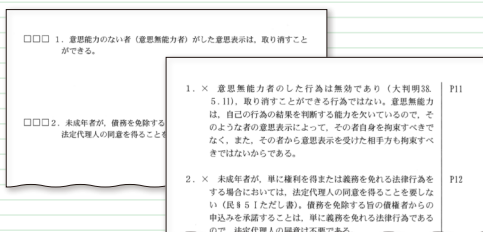


トレーニング

テキスト・カリキュラムに完全連動！ 各学習段階での理解を促進！

「トレーニング」はテキスト・カリキュラムに完全連動した、講座専用アウトプット教材です。いきなり該当箇所の過去問を解いても、すべての範囲を学習しないと解けない問題もあります。このトレーニングでは、各回の講義で学習した範囲の中で「必ず押さえておかなければならない知識」を問う問題が一问一答形式および記述式で掲載されていますので、合格に必要なかつ重要な知識を身につけることができます。トレーニングを解くことで過去問集を解く前に、「何が重要な知識か」を浮き彫りにすることにより、過去問の学習の効率を上げることができます。また、各回講義の重要な箇所をまとめて掲載している「ポイントチェック」で知識の整理ができ、スタンダード合格テキストと合わせて活用することで、効果的に学習することができます。



一问一答形式で理解度を確認

問題は一问一答形式で掲載されています。解答・解説ページには該当するスタンダード合格テキストのページが書かれているので該当ページを探すことなく、すぐに確認し復習することができます。不動産登記法・商業登記法では記述式に対応した基本問題を掲載し、早い時期から対策を行うことができます。



※表紙デザインは変更となる場合がございます。

第10回講義 ポイントチェック			
	チェック項目	解答	該当ページ
1	権利能力の始期	私権の享有（権利能力）は、出生に始まる（民831）。したがって、自然人は出生と同時に権利能力を取得する。	P9
2	胎児に権利能力が認められる場合（5つ）	① 不法行為に基づく損害賠償請求権（民872） ② 相続（民848） ③ 遺贈（民8551、8561）	P9
	母親は胎児の代理人となれるか（判例）	代理人とはならない。胎児中には、権利能力がなく、生きて生まれ、場合に、出生の時に生命のすべて	P9

ポイントチェックで知識の確認

各回の講義で覚えておかなければならない知識をポイントチェックでまとめてあります。テキストのページも掲載していますので、知識を効率良く身につけることができます。